



青 於

3月号



むかしあそびをしよう (2/25)

1・2年生が、祖父母の皆さまやさいこうクラブの皆さまに、「むかしあそび」(竹とんぼ、はねつき、けん玉、おはじき、こま、お手玉、あやとり)を教えてもらいました。1年生が初めて司会・進行を行いました。とても上手にできました。「むかしあそび」のあと、一緒に楽しく給食を食べました。



お巡りさん・交通指導員さん・スクールガードの皆さんに感謝する会 (2/27)

雨が降る日も、風の日も、朝早くから子どもたちが事故に遭わずに、毎日安全に登下校できるように、見守ってくれている皆さんへの感謝の会を開きました。「お巡りさんたちがいるから大丈夫だ」と安心しないで、「自分の命は自分で守る」ために、「飛び出し注意」「左右確認」をしっかり守ってほしいと思います。また、2月20日から、登校班の班長が変わりました。責任ある仕事だと思いますが、登校班の人たちが交通事故に遭わないように、安全面の気配りをよろしくお願いします。

6年生を送る会 (3/2)

6年生は、大内西小の最高学年として、運動会や自然教室などの学校行事でリーダーシップを発揮してくれました。また、共遊や清掃などの日常生活においても、下級生の面倒をよく見てくれました。まさに、「下級生のお手本となるような行動」をとってくれました。各学年の子どもたちから6年生に、心のこもった歌や手作りのプレゼントなどが贈られ、今まで大内西小をリードしてきた6年生に対して、感謝の気持ちが伝わった会になりました。



朝会の話(3/2)「石取りゲームの必勝法」

石取りゲームとは、最初に28個の石があり、その石を交互に取っていき、最後の石を取った方が負けになるゲームです。(ルールは、①じゃんけんをして先手と後手を決める。②1回に取れる石の数は、1個か、2個か、3個のどれか。③先手、後手と交互に石を取る。④最後に石を取った方が負け。)子どもたちは、普段、いろいろなゲームをやっています。しかし、勝ちたい気持ちはもっていると思いますが、どのようにすれば勝てるのかという必勝法を考えてゲームをしている子どもは多くはないと思います。そこで、石取りゲームを例にとって、必勝法を考えさせました。

⑳(最後)の石を相手に取らせるためには、こちらが㉑の石を取らなければなりません。そこで考えなければならないのが、相手が1個取っても、2個取っても、3個取っても、必ず㉑の石が取れるような、前の順番で終わらなければなりません。そう考えると、㉑の石の4つ前の㉓の石をとらなければならないし、㉓の石を取るためには㉑の石を、㉑の石を取るためには…、と考えていくと最初に③の石を取った方が勝ちになることが分かります。つまり、このゲームの場合は、先手が最初に石を3個取れば勝てるのです。

このような考え方を使って、次のような問題を考えるプリントを配付しましたので、ご家族で考えていただければと思います。①29個、30個、31個など、碁石の数を変えたらどうだろう。②1回に取れる数を4個に変えたらどうだろう。
※上記のような内容で、朝会を予定していたのですが、臨時休校になってしまったため、実施できませんでした。問題プリントは、家庭訪問で配付しました。

卒業式 (3/19)

19名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆さんには、上杉鷹山の「なせば成るなさねばならぬ何事も、成らぬは人のなさぬ成りけり」の気持ちを忘れず、これからの長い人生、自分が正しいと思ったことに何でもチャレンジできる人間になって欲しいと思います。

